

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成28年4月14日(2016.4.14)

【公開番号】特開2014-219708(P2014-219708A)

【公開日】平成26年11月20日(2014.11.20)

【年通号数】公開・登録公報2014-064

【出願番号】特願2013-96079(P2013-96079)

【国際特許分類】

G 06 F 17/30 (2006.01)

G 06 F 12/00 (2006.01)

【F I】

G 06 F 17/30 2 1 0 D

G 06 F 17/30 1 4 0

G 06 F 12/00 5 4 6 A

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月24日(2016.2.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ウェブページへのアクセスを制御する情報処理装置であって、

ユーザにより指定されたウェブページの構造情報を取得するウェブページ取得手段と、
前記ウェブページ取得手段により取得した構造情報に基づき、当該ウェブページへのア
クセスを制御するアクセス制御手段と、

を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

ウェブページの構造情報とカテゴリとを対応付けた第1の情報と、カテゴリと当該カ
テゴリのウェブページへのアクセス制御内容とを対応付けた第2の情報とを記憶する記憶手
段と、

前記ウェブページ取得手段により取得したウェブページの構造情報と前記第1の情報と
に基づき、当該ウェブページのカテゴリを判定するカテゴリ判定手段と、

をさらに備え、

前記アクセス制御手段は、前記カテゴリ判定手段により判定されたカテゴリと前記第2
の情報とに基づき、当該ウェブページへのアクセスを制御するアクセス制御手段と、
を備えることを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記記憶手段は、さらに、ウェブページのURLと、当該URLにより識別されるウェ
ブページのカテゴリとを対応付けた第3の情報を記憶することを特徴とし、

前記カテゴリ判定手段は、前記ユーザにより指定されたウェブページのURLが前記記
憶手段に記憶されている場合には、当該URLに対応付けて記憶されたカテゴリを当該ウ
ェブページのカテゴリと判定し、前記ユーザにより指定されたウェブページのURLが前
記記憶手段に記憶されてない場合には、当該ウェブページの構造情報に基づき、当該ウ
ェブページのカテゴリを判定することを特徴とする請求項2に記載の情報処理装置。

【請求項4】

前記情報処理装置は、さらに、

前記ウェブページ取得手段で取得したウェブページのカテゴリが所定のカテゴリであって、前記記憶手段に当該ウェブページのURLが記憶されていない場合、所定の警告を通知する通知手段と、

を備えることを特徴とする請求項3に記載の情報処理装置。

【請求項5】

前記記憶手段は、さらに、フィッシング警告対象のカテゴリを記憶する第4の情報を記憶することを特徴とし、

前記通知手段は、さらに、前記ウェブページ取得手段で取得したウェブページのカテゴリが前記フィッシング警告対象のカテゴリであって、前記記憶手段に当該ウェブページのURLが記憶されていない場合、当該ウェブページがフィッシングサイトである旨の通知をすることを特徴とする請求項4に記載の情報処理装置。

【請求項6】

前記ウェブページの構造情報は、ウェブページのDOMツリーから抽出される特徴量であることを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項7】

ウェブページへのアクセスを制御する情報処理装置における情報処理方法であって、

前記情報処理装置のウェブページ取得手段が、ユーザにより指定されたウェブページの構造情報を取得するウェブページ取得工程と、

前記情報処理装置のアクセス制御手段が、前記ウェブページ取得工程により取得した構造情報に基づき、当該ウェブページへのアクセスを制御するアクセス制御工程と、

を備えることを特徴とする情報処理方法。

【請求項8】

ウェブページへのアクセスを制御する情報処理装置において実行可能なプログラムであって、

前記情報処理装置を、

ユーザにより指定されたウェブページの構造情報を取得するウェブページ取得手段と、

前記ウェブページ取得手段により取得した構造情報に基づき、当該ウェブページへのアクセスを制御するアクセス制御手段として機能させることを特徴とするプログラム。